

OCHIS 18日にセミナー

過労死対策などがテーマ

【大阪】OCHI Sが主催する第13回OCHISセミナーが18日に開催される。テーマは「健康起因事故と過労死対策」注目すべきは、情報の共有&合わせ技」。

働き方関連法案により、過労死対策を踏まえた長時間労働のあり方が指摘されているが、国土交通省からも睡眠チェックを打ち出した点呼の義務化、定期健康診断未実施の行政処分強化など、運輸業

ピーカーを交え、これらの課題に対応すべく、方策を探っていく。OCHISからの報告や基調講演などのほか、昨年と同様、好評のヘルシーランチを食べながらのランチョンセミナーも予定している。

健康保険組合等関係者は10000円で、その他は5000円、情報交流会参加の場合は別途5000円が必要。開催場所は大阪大学中之島センターで、定員は100人。申し込み締め切りは11日まで。

(木村麻理奈)
レイアウト: 又野初音

今回のセミナーでは、運輸ヘルスケアナビシステムに基づく定期健康診断結果や残業時間、睡眠情報などの情報の集約と見える化、そしてPDCAの推進方法の提案を行うとともに、学識者や事業者など多彩なス